

【問題 1】 1 型糖尿病について間違っているものを 1 つ選べ。

1. 発症年齢は、8-12 歳がピークであるが中高年でも認められる。
2. 日本人では HLA の DR4, DR9 が疾患感受性である。
3. GAD 抗体、IA-2 抗体が陽性の場合には 1B 型と診断する。
4. 成長期は原則として標準体重ではなく年齢に合わせた栄養所要量を摂取させる。
5. 小児慢性特定疾患は 20 歳まで継続申請できる。

【問題 2】 劇症 1 型糖尿病について正しいものを 1 つ選べ。

1. 高血糖症状出現後 6 週間前後でケトアシドーシスに陥る。
2. 膵島関連自己抗体が大部分の例で陽性である。
3. 診断時の HbA1c が高値を示す。
4. ケトアシドーシス発症前に上気道症状や消化器症状を認めることが多い。
5. 家系内の糖尿病が多い。

【問題 3】 2 型糖尿病について間違っているものを 2 つ選べ。

- a. 糖尿病の家族歴を認めることが多い。
- b. 肥満があるか、過去の肥満歴を有することが多い。
- c. 加齢や運動不足は発症や悪化の原因となる。
- d. 日本では男性より女性が多い傾向にある。
- e. ほとんどの場合は、インスリン治療が必要となる。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 4】 インスリン分泌とその作用について正しいものを 2 つ選べ。

- a. 2 型糖尿病ではほとんどの場合インスリン分泌が枯渇している。
- b. ブドウ糖を経静脈的に投与した際のインスリン分泌にインクレチンが関与している。
- c. インスリンは肝臓でのブドウ糖産生を抑制する。
- d. 3 大栄養素の中で脂肪が最も強くインスリン分泌を刺激する。
- e. インスリンは脂肪合成を促進する。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 5】 インスリン抵抗性について正しいものを 2 つ選べ。

- a. HOMA-R が 5 であったのでインスリン抵抗性ありと判断した。
- b. 肥満者においてはインスリン抵抗性が少ない。
- c. インスリン治療により高血糖が是正されればインスリン感受性は回復する。
- d. インスリン抵抗性があると HDL コレステロールが増加する。
- e. インクレチン製剤はインスリン抵抗性を改善するのが主な作用である。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 6】 糖尿病と診断できるものを 2 つ選べ。

- a. 初回検査で HbA1c が 7.2%、再検査で HbA1c 7.0%。
- b. 随時血糖値 180 mg/dL で、明らかな腎症を認める。
- c. 口渇、体重減少を認め、HbA1c が 6.8%。
- d. 75gOGTT 2 時間血糖値が 220 mg/dL で、HbA1c が 6.6%。
- e. 初回検査で空腹時血糖 140 mg/dL、HbA1c 6.3%で、再検査で HbA1c が 6.5%。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 7】 血糖コントロールの指標について間違っているものを一つ選べ。

1. 熊本宣言 2013」では、病態に応じて HbA1c の目標を個別化するよう勧めている。
2. HbA1c は過去 1~2 カ月、グリコアルブミン (GA) は過去 2 週間の平均血糖を反映する。
3. HbA1c は大量出血や溶血性貧血などの場合、偽低値を示す。
4. GA は血液透析、妊娠、肝硬変患者の場合、HbA1c より適正な指標となる。
5. SGLT2 阻害薬使用患者においては、1,5-AG が血糖コントロールの最も良い指標である。

【問題 8】 血糖・尿糖の自己測定について正しいものを一つ選べ。

1. 血糖自己測定の際には、酒精綿での消毒で十分である。
2. CGM (持続血糖測定) は、1 型糖尿病の患者のみ保険適応となっている。
3. 血糖自己測定の穿刺器具は、どの機種も複数の患者で使用してよい。
4. CGM は、無自覚性低血糖や暁現象、ソモジー効果を調べるのに有効である。
5. 通常血糖値が 150mg/dL を超えると尿糖が陽性となる。

【問題 9】 自己管理指標の記録と活用について間違っているものを1つ選べ。

1. 糖尿病連携手帳は地域連携パスとして活用することができる。
2. 日本糖尿病協会の自己管理ノートには生活の変化は記録しない。
3. セルフモニタリングとは、体重、食事、身体活動等の行動を自分で観察し記録する方法である。
4. 自己管理の成果をポジティブにフィードバックすることで、患者の自己効力感を高めることになる。
5. グラフ化体重日記は、1日4回体重を測定し記録する事により誤った食行動や生活習慣を認識させる事を目的とする。

【問題 10】 糖尿病合併症の検査について間違っているものを2つ選べ。

- a. 網膜症を認めない場合でも6~12ヶ月に1回の眼科受診を勧める。
- b. 起立負荷試験は副交感神経の機能を反映する。
- c. 微量アルブミン尿は腎症第2期に分類される。
- d. 腎症第1期ではeGFRが60ml/分/1.73m²未満に低下する事はない。
- e. 頸動脈病変の早期発見のため頸動脈エコーにて内膜中膜複合体厚を測定する。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 11】 糖尿病大血管障害について間違っているものを2つ選べ。

- a. 糖尿病患者の動脈硬化性疾患の発症率は非糖尿病患者の5~10倍とされている。
- b. 糖尿病患者の冠動脈疾患は、多枝病変である事が多い。
- c. 胸痛の訴えがない場合は冠動脈疾患を除外しても良い。
- d. non HDL コレステロールの管理目標値は、LDL コレステロールの目標値+30mg/dL未満とする。
- e. 糖尿病はアテローム血栓性の脳梗塞に関係している。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 12】 糖尿病神経障害の診断と治療について間違っているものを1つ選べ。

1. 感覚・運動神経障害は両手先から始まり体の中心に向かって徐々に進行する。
2. 感覚・運動神経障害の評価にはモノフィラメントも有用である。
3. 安静臥位から立位への体位変換で、収縮期血圧が 30mmHg 以上低下すれば起立負荷試験陽性である。
4. 有痛性神経障害の治療にプレガバリンやデュロキセチンを使用する。
5. 単神経障害は突然発症し、自然に寛解する事も多い。

【問題 13】 糖尿病眼合併症の診断と治療について間違っているものを2つ選べ。

- a. 増殖網膜症に至るまで自覚症状が出現しない場合が多い。
- b. 増殖前網膜症以降では急速な血糖コントロールを要する。
- c. 汎網膜光凝固療法は増殖前網膜症、増殖網膜症が適応である。
- d. 無灌流領域などの細小血管異常は、通常の眼底写真で十分診断可能である。
- e. 糖尿病黄斑症の診断には、光干渉断層計（OCT）が有用である。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 14】 視力障害者への援助について、間違っているものを2つ選べ。

- a. 40歳～64歳の重症糖尿病網膜症患者は、介護保険サービスの利用が可能である。
- b. 視力障害が重症化すれば身体障害者手帳の申請が出来る。
- c. 視力障害者のインスリン注射は事故防止のため家族等に全介助を依頼する。
- d. 光凝固施行後の1週間は、日常生活程度に運動強度を制限する。
- e. 糖尿病眼手帳は眼科医師の診療の記録なので、眼科受診時に提示すればよい。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 15】 糖尿病腎症の診断と治療について、正しいものを 2 つ選べ。

- a. 新規透析導入患者の原疾患は慢性腎炎が最も多く、続いて糖尿病腎症、腎硬化症の順番である。
- b. 尿アルブミン値 100mg/gCr で eGFR40mL/min/1.73m² なら糖尿病腎症第 4 期、CKD 分類 G3bA2 に相当する。
- c. 糖尿病腎症では短期間での蛋白尿の増加や血尿を認める事が多い。
- d. 糖尿病腎症の透析予防指導管理料の対象は第 2 期からである。
- e. 治療は、肥満の解消、禁煙、血圧の厳重管理、食塩制限、尿蛋白陽性例では腎機能に応じた蛋白制限など、病態に応じて個別化する。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 16】 その他の合併症について間違っているものを 2 つ選べ。

- a. 糖尿病患者が悪性腫瘍に罹患する頻度は、健常人と同等である。
- b. 糖尿病患者が認知症を発症した場合、潜在性の低血糖を検索すべきである。
- c. 2 型糖尿病では、骨密度が低下することにより骨折のリスクが高まる。
- d. 糖尿病患者における尿路感染症の原因菌として、グラム陰性桿菌の頻度が高い。
- e. HbA1c 10%の状態においては、好中球の貪食能が低下している事が考えられる。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 17】 メタボリックシンドロームについて、正しいものの組み合わせを 1 つ選べ。

- a. メタボリックシンドロームが疑われる場合は、診断のために糖負荷試験が必須となる。
- b. 日本では 1995 年に診断基準が提案され、同年よりメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導が開始された。
- c. 診断にはウエスト周囲径が用いられるが、男性の場合は 90cm 以上、女性の場合は 85cm 以上が内臓脂肪蓄積異常とみなされる。
- d. 内臓肥満を基盤として脂質代謝異常、耐糖能異常、高血圧が重積することにより、動脈硬化性疾患の発症が増加するとした概念である。
- e. 空腹時血糖値 126mg/dL 以上、HbA1c 6.5%以上を受診症例判定値としている。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 18】 糖尿病における血圧・脂質の管理について、正しいものの組み合わせを 1 つ選べ。

- a. 高血圧の管理が脳血管障害の発症阻止に有効であり、同じ降圧効果であっても降圧薬の種類によって発症予防効果に違いがあることが報告されている。
- b. 降圧目標は、収縮期血圧 140mmHg 未満、拡張期血圧 90mmHg 未満に設定されている。
- c. 高トリグリセリド血症や高 LDL コレステロール血症の改善は、心血管イベントの発症を抑制する。
- d. 「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012 年版」では脂質管理目標値が設定されており、糖尿病が存在する場合はカテゴリー I に分類され、LDL コレステロールは 140mg/dL 未満に管理することが推奨されている。
- e. non HDL コレステロール（総コレステロール-HDL コレステロール）は、LDL-コレステロールの管理目標値+30mg/dL 未満を目標にする。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 19】 フットケアについて正しいものの組み合わせを 1 つ選べ。

- a. 糖尿病神経障害で自律神経障害があると、足の正常な弓状構造が保てず変形し、胼胝や水疱や小潰瘍ができやすい。
- b. 糖尿病では、糖尿病神経障害、末梢循環障害、易感染性が重複して存在することが多く、足部の組織障害が生じやすい。
- c. 足病変の基礎病態である神経障害や血流障害は、血糖コントロールを改善すると大幅に回復し、足病変の再発も減少する。
- d. 足病変で最も重要なことは予防であるため、足病変のハイリスク患者を抽出し、定期的に足の観察を行いフットケアや指導を行う。
- e. 糖尿病合併症管理料の算定において、CDE（LCDE や CDEJ）であれば、糖尿病重症化予防（フットケア）の「適切な研修」を受けていなくても算定することができる。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 20】糖尿病の EBM (Evidence based medicine) について、以下の糖尿病に関する文で、間違っているものを 1 つ選べ。

1. 早期腎症までは運動制限の必要はない。
2. 児の奇形は高血糖が主な原因であり、妊娠 8 週までに奇形の有無は決定される。
3. 網膜症の有病率は糖尿病罹病期間が 20 年を超えると 80% 以上になる。
4. 腎症第 3 期では高血圧がなくても食塩摂取量を **6g/日** に制限する。
5. 糖尿病患者においては膵臓癌・肝臓癌・前立腺癌が健常者に比して有意に多い。

【問題 21】血糖の治療目標について、間違っているものを 2 つ選べ。

- a. 細小血管障害の発症・進展を予防する観点からは HbA1c は 7.0% 未満を目指す。
- b. 妊娠中の血糖コントロールは朝食前血糖値 70~100mg/dL、食後 2 時間血糖値 140mg/dL 未満、HbA1c は 7% 未満を目標とする。
- c. 高齢になって糖尿病を発症した者と青壮年発症の糖尿病で高齢になった者とは分けて血糖コントロール目標を考えるべきである。
- d. 糖尿病患者の場合、HbA1c 8.0% 未満が妊娠を許容できる目安となる。
- e. 一定期間血糖の厳格なコントロールを行った場合には、その後通常の治療になっても、その効果が長期間残る。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 22】糖尿病の治療方針の立て方について正しいものを 1 つ選べ。

1. 1 型糖尿病ではまず食事療法と運動療法で 2, 3 ヶ月程度経過を観察する。
2. 運動療法は、糖尿病の病型、合併症の有無と程度によらず全例で実施する。
3. 2 型糖尿病ではいずれの症例でもまずビグアナイド薬から開始する。
4. 妊娠希望のある糖尿病患者には、血糖自己測定導入が適応となる。
5. 糖尿病腎症第 2 期以降は、血糖管理は原則としてインスリン療法で行う。

【問題 23】左の病態に対する食事療法として間違っているものを 1 つ選べ。

1. 1 型糖尿病患者・・・カーボカウント法
2. 糖尿病腎症第 3 期の患者・・・たんぱく質制限食
3. 透析導入した糖尿病患者・・・たんぱく質制限の強化
4. 高血圧合併糖尿病患者・・・食塩相当量 1 日 6 g 未満に制限
5. 高カリウム血症を伴う糖尿病腎症第 4 期の患者・・・生野菜の摂取制限

【問題 24】 食事療法の基礎知識について間違っているものを一つ選べ

1. 食事療法の目的は、糖尿病患者が健常者同様の日常生活を営むのに必要な栄養素を摂取させることである。
2. 軽労作の 1 日のエネルギー摂取量の目安は、 $[\text{身長 (m)}]^2 \times 22 \times 25 \sim 30\text{kcal}$ である。
3. 極端な糖質制限食は、長期的には腎症や動脈硬化の進行などが懸念される。
4. 一般的に成人期の三大栄養素比率は、炭水化物 50~60%、たんぱく質 25~30%、残りを脂質とする。
5. 食塩やコレステロール、飽和脂肪酸を控え、食物繊維を 1 日 20~25g 以上とる

【問題 25】 食品交換表を用いた指導について、間違っているものを一つ選べ。

1. 脂質は血糖値の上昇には関係が無いので、1 回の食事でまとめてとってもよい。
2. 食事に占める炭水化物量の割合について、3 種類の配分例が示されており、患者それぞれの症例に応じて柔軟に対応する。
3. 表 1、表 3、表 6 の食品を朝食、昼食、夕食にほぼ均等に配分する。
4. 食品の交換は、同じ群の食品であれば同じ単位数ずつ交換できる。
5. 各表と調味料の栄養素の平均含有量から、1 日の栄養素量の概算が可能である。

【問題 26】 栄養素のバランスを考えた 20 単位食（炭水化物 55%）で、間違っているものを一つ選べ。

1. 表 1 は朝食と夕食に各々ごはん 150g、昼食にうどん 3 単位食べた。
2. 表 2 は朝食と昼食で各々 0.5 単位ずつ食べ、表 4 は間食として普通牛乳 180ml とった。
3. 表 3 は朝食に卵 50g、昼食に豚ロース 80g、夕食にさば 80g と木綿豆腐 100g を食べた。
4. 表 5 は朝食にドレッシング 10g、昼食に植物油 10g を使った。
5. 表 6 は野菜を毎食 100g 以上食べた。

【問題 27】 アルコール飲料、間食、補食について間違っているものを2つ選べ。

- a. 毎日の飲酒は脂肪肝や肝障害などの原因ともなるので、最低週2回は飲まない日を設ける。
- b. アルコール飲料は、食品交換表の表1の食品との交換はできない。
- c. 代替甘味料を使用した清涼飲料水や菓子などの摂取については、主治医・管理栄養士に相談する。
- d. 間食に適した食品は果物や牛乳であり、1日の指示単位とは別に摂取してもよい。
- e. 運動の途中で低血糖症状になった時は、パン、おにぎり、ビスケット等を食べる。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 28】 外食、中食、不規則な食事等の指導について、間違っているもの2つ選べ。

- a. 食品100g当たり30kcal未満であれば、カロリーオフ、低カロリーの表示ができる。
- b. 職業により決まった時間帯に食事がとれない場合は、手軽に摂れる間食や補食を準備しておく。
- c. 外食では量が多い場合も1人分であれば全部食べて良いが、前後の食事で調整するよう指導する。
- d. 外食の傾向として表1と表5の食品が多く、表6の野菜が少ない。
- e. 中食を利用する場合は、食品の計量を生活の中で習慣づけておくことにより、食事量の判断がおおむね可能となる

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 29】 肥満者の生活指導について、間違っているものを2つ選べ。

- a. いつ、何処で、誰と、何のために、何を、どれだけ食べたか、食行動を記録させる。
- b. 減量には食事の回数を3回から2回に減らすことが有用である。
- c. 低エネルギー食品(野菜・海草・キノコ・コンニャクなど)を活用する。
- d. 減量には食事療法も大事だが、運動療法はより効果的である。
- e. やや固めの噛みごたえのある食品(ゴボウ・昆布・切り干し大根など)を一品つける。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 30】 肥満症の治療について、正しいものを1つ選べ。

1. 高度肥満の場合でも、食事療法は25kcal/kg・標準体重から始める。
2. 食事制限を長期間続けるのは困難なので、短期間で急速な減量が効果的である。
3. 外来でも栄養士がいれば、低エネルギー食(800~1000kcal)の指導は可能である。
4. 1食1単位減らすことで、1ヶ月に1kg体重が減量できる計算になる。
5. 体重減少のためには、食事療法とともに1日1単位程度の運動を併用する。

【問題 31】 糖尿病腎症の食事療法について、間違っているものを2つ選べ。

- a. 第1期(腎症前期)、第2期(早期腎症期)は糖尿病食を基本とし、血糖コントロールにつとめる。
- b. 第3期(顕性腎症期)以降はたんぱく質制限が主要で、血糖管理は原則としてインスリン療法で行う。
- c. **第3、4期**では高血圧がなくても食塩摂取量を**6g/日に制限する**。第4期では5~7g/日に制限する。
- d. 第3期では高カリウム血症を認めてもカリウム制限を行う必要はない。
- e. 糖尿病腎症の食品交換表では、1単位80kcal当りのたんぱく質含量が示されている。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 32】病態に応じた食事療法に関する考え方で、間違っているものを2つ選べ。

- a. 糖尿病合併高血圧では、減塩、体重減少、運動療法など生活習慣の修正を行う。
- b. 「高血圧治療ガイドライン 2014」によれば、食塩は1日6g未満としている。
- c. 脂質異常症患者では、肥満の是正とともに、間食、飲酒を控え、n-3系多価不飽和脂肪酸の摂取を減らすなどの生活指導が必要である。
- d. 動脈硬化が強い患者では、脱水にならないように飲水を勧める。
- e. 「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012年版」によれば、コレステロール摂取量を300mg/日に抑えるとしている。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 33】 運動療法の意義と適応について、間違っているものを1つ選べ。

1. 運動療法はインスリン抵抗性の改善、血糖値の是正、合併症の予防、高血糖・肥満の是正などを目的とした治療手段である。
2. 空腹時血糖 300mg/dL 以上であれば尿ケトン体の有無にかかわらず、積極的に運動を勧めるべきである。
3. 早期腎症までは、激しい運動で尿蛋白陽性になる場合以外は運動制限の必要はない。
4. 単純網膜症では強度の運動は行わない。増殖前網膜症は歩行程度の運動、増殖網膜症ではADL能力維持程度の運動とする。
5. 自律神経障害の、起立性低血圧などでは、ADL能力の維持のための運動とする。また知覚障害では水泳、自転車が良い。

【問題 34】 運動療法の指導について、正しいものを 2 つ選べ。

- a. 運動は、筋力・筋量を増加させる有酸素運動が勧められ全身の大きな筋を使ったレジスタンス運動は関節疾患の予防や高齢者などには有効である。
- b. 目標心拍数を算出する場合は、 $[(220 - \text{年齢}) - (\text{安静時心拍数})] \times 40\% \sim 60\% + \text{安静時心拍数}$ で求める。
- c. 一日の活動量は、日常生活全体で約 1 万歩、ほぼ 100~160Kcal 程度が適当である。また運動持続時間は 20 分以上持続が望ましい。
- d. 運動は、食後 1~2 時間に行うことが最適である。また細切れでも週 150 分以上週 3~5 日以上行う。薬物治療中でない 2 型糖尿病の患者では、食前の運動でも構わない。
- e. METs を用いた簡易換算式では、散歩は 2.0 METs で階段（昇り）は 7.0 METs、ゴルフは 8.0 METs である。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 35】 経口血糖降下薬の適応と効果について、間違っているものを 1 つ選べ。

1. ビグアナイド (BG) 薬は、肝臓での糖新生抑制、末梢組織でのインスリン抵抗性改善などの膜外作用によって、血糖を降下させる。
2. チアゾリジン薬は、インスリン抵抗性を有する 2 型糖尿病に最も効果が期待できる。
3. α -グルコシダーゼ阻害 (α -GI) 薬は、糖質の消化・吸収を遅延させて、食後高血糖を抑制する。
4. 速効型インスリン分泌促進薬は、スルホニル尿素 (SU) 薬より作用発現が遅く、インスリン分泌促進作用も弱い。
5. ジペプチジルペプチダーゼ-4 (DPP-4) 阻害薬は、単独では低血糖の可能性は少なく、体重も増加しにくい。

【問題 36】 経口血糖降下薬の副作用について、間違っているものを2つ選べ。

- a. 速効型インスリン分泌促進薬は、空腹感、冷汗などの低血糖症状や肝機能障害に注意する。
- b. DPP-4 阻害薬は、SU 薬との併用で重症低血糖が起こる危険性があるため、SU 薬の減量を考慮する。
- c. BG 薬は、高齢者、心肺機能高度障害者、肝・腎障害を持つ患者で、ケトosisをきたす可能性がある。
- d. α -GI 薬を使用する場合には、肝機能障害に注意し、定期的な肝機能検査が必要である。
- e. チアゾリジン薬での腎機能障害の副作用はよく知られており、そのような場合は直ちに投薬中止を考慮する。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 37】 インクレチン関連薬について正しいのはどれか。

- a. GLP-1 受容体作動薬は、下痢、便秘、嘔気などの消化器症状を来すことがある。
- b. インクレチンは DPP-4 によって分解・不活性化される。
- c. DPP-4 阻害薬は、スルフォニル尿素薬 (SU 薬) と併用しても、低血糖を起こす恐れはない。
- d. グルカゴン様ペプチド-1 (GLP-1) などのインクレチンは、食後に胃から分泌される消化管ホルモンであり、膵 β 細胞からのインスリン分泌促進、グルカゴン分泌抑制などの働きを持つ。
- e. GLP-1 受容体作動薬は、特に肥満症例で体重増加をきたしやすい。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 38】 インスリン療法の基礎について、正しいのはどれか。

- a. 2 型糖尿病はインスリン療法を一旦導入すると経口血糖降下薬への変更は不可能である。
- b. インスリン療法の絶対的適応は、1 型糖尿病などインスリン依存状態、糖尿病性ケトアシドーシスなどの糖尿病性の緊急症または糖尿病合併妊娠などである。
- c. 超速効型インスリンは、皮下注射後 1～3 時間でその効果がピークとなる。
- d. 持効型溶解インスリンは、皮下注射後 1～2 時間で作用が発現し、24 時間以上血糖降下作用が持続する。
- e. 現在使用されているインスリン製剤は、1mL に 40 単位のインスリンが含有されている。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 39】 インスリンと経口血糖降下薬の併用について、間違っているものを 1 つ選べ。

1. 経口血糖降下薬で良好な血糖コントロールが得られない場合に持効型溶解インスリン追加投与する場合が多い。
2. 1 型糖尿病患者は、通常インスリン療法単独であり経口血糖降下薬の併用は少ない。
3. インスリンと経口血糖降下薬の併用が有効な 2 型糖尿病は、ある程度内因性インスリン分泌能が保たれている症例、インスリン抵抗性が強い症例である。
4. インスリンと経口血糖降下薬を併用する場合も体重増加に注意が必要である。
5. インスリンと経口血糖降下薬の併用を行えば、食事療法を緩和しても良い。

【問題 40】 インスリン療法の指導について、間違っているものを 2 つ選べ。

- a. 未使用のインスリンは冷所保存する。
- b. 脂肪組織萎縮や硬結を予防するために、2～3cm ずらして注射する。
- c. インスリンの注射部位では腹壁、肩・上腕、臀部、大腿の順に吸収が遅い。
- d. 空打ちは、注射器内の空気抜き以外に、作動確認のために重要である。
- e. インスリンは飛行機の機内に持ち込むことはできない。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 41】 カーボカウントを行っている 1 型糖尿病患者のインスリン量の調整について、間違っているものを 2 つ選べ。

- a. 食事で摂取する糖質量に応じて超速効型インスリン量を調節する。
- b. 食前血糖が高い場合は補正インスリンが必要な場合がある。
- c. 間食をする時も超速効型インスリンを注射する。
- d. 果物はカーボカウントの際には無視してよい。
- e. 宴会や鍋物の時も通常通りに食直前に既定量の超速効型インスリンを注射する。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 42】 低血糖の原因と症状について、間違っているものを 2 つ選べ

- a. 低血糖は食事が遅れた時や運動後に起こりやすい。
- b. 高齢者の場合は低血糖症状が非特異的であり、認知症と誤認されることもある。
- c. 普段から低血糖を頻発していると低血糖症状が出やすくなる。
- d. 血糖値 70 mg/dL 以上であっても、急激な血糖低下の場合は低血糖症状が出現することがある。
- e. SU 剤は単独では低血糖を起こしにくい。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 43】 低血糖の予防と治療について、間違っているものを 2 つ選べ。

- a. 外出時にはブドウ糖または砂糖、糖尿病連携手帳などを携行する。
- b. 規則正しい生活に努め、その時の血糖値に応じてむやみに自己判断でインスリンを増量しない。
- c. α -グルコシダーゼ阻害薬服用の場合はブドウ糖より砂糖を摂取することが望ましい。
- d. 意識障害がある場合は、誤嚥や窒息の原因となるので、食べ物を無理に口の中に入れない。
- e. グルカゴン注射後は 1~2 分で速やかに血糖値が上昇する。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 44】 高浸透圧高血糖症候群について間違っているものはどれか

1. 予後は糖尿病ケトアシドーシスより悪い
2. HCO_3^- は正常のことが多い
3. 血漿浸透圧は 350 mOsm/L 以上のことが多い
4. 顕著な脱水
5. 若年者に多い

【問題 45】 シックデイの対応について、間違っているものを1つ選べ。

1. 発熱、下痢、嘔吐が出現することによって血糖コントロールが著しく困難に陥った状態をシックデイという。
2. 食事が摂れない場合は経口血糖降下薬やインスリンは全て中止する。
3. 十分な水分の摂取により脱水を防ぐように指導する。
4. 高熱が続く場合や消化器症状が強い場合は医療機関を受診する。
5. 頻回に血糖測定を行い、高血糖に備える。

【問題46】 糖尿病患者の歯周病について、間違っているものを1つ選べ。

1. 歯周病予防には、血糖コントロールを良好に保つことが大切である。
2. 歯周病は心筋梗塞などの動脈硬化性疾患の誘因となる可能性がある。
3. 唾液中のブドウ糖の上昇と唾液分泌量の減少により、歯垢形成が助長される。
4. 歯周病予防のためには抗生物質の継続投与が有用である。
5. 歯周病の予防のため、歯科の定期受診、ブラッシングなどの必要性を説明する。

【問題 47】 ライフステージ別の療養指導について、間違っているものを2つ選べ。

- a. 乳幼児期は食事量が一定せず、血糖変動が大きいいため、将来合併症が起こる可能性があることを（強調して）説明する。
- b. 糖尿病サマーキャンプ参加は、同じ病気をもつ子供同士の交流が図れ、自己管理習得への機会となる。
- c. 糖尿病であることを進学や就職で公表しなければならないことを説明し、低血糖に注意するよう指導する。
- d. 年少児が低血糖を頻発すると、知能発達に悪影響を及ぼす場合がある。
- e. 思春期は成長ホルモンや性ホルモンの影響により血糖コントロールが不安定となりやすい。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 48】 妊娠糖尿病について、正しいものを2つ選べ。

- a. ほとんどの例では分娩後に糖代謝異常が悪化する。
- b. 母体では巨大児やHFD児のために、肩甲難産になりやすい。
- c. 母体は将来糖代謝異常や糖尿病になる率が低い。
- d. 妊娠糖尿病は、妊娠中にはじめて発見した糖尿病にいたっていない糖代謝異常である。
- e. 児の奇形は妊娠後期の後期の高血糖の有無で規定される。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 49】 糖尿病合併妊娠の管理方針について、間違っているものを2つ選べ。

- a. 肥満妊婦（BMI \geq 25kg/m²）は妊娠全経過を通じて、標準体重 \times 30kcalとする。
- b. 早朝の尿ケトン体陽性の時は、夜間の低血糖予防に就寝前の補食が必要。
- c. 母体の高血糖は胎児の高血糖を引き起こし、胎児は低インスリン血症となる。
- d. 糖尿病女性が挙児を希望する場合、妊娠前の治療・管理が大切である。
- e. 妊娠中だけでなく、妊娠前、周産期、授乳期も**必ず**インスリンを用いる。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 50】 一般的な保健指導について、間違っているものを2つ選べ。

- a. 喫煙は血圧の上昇、血液凝固能の亢進、LDL-C の低下、HDL-C の増加、血管内皮細胞の障害をきたす。
- b. 海外旅行時は、英文紹介状か ID カードを持参する。
- c. 海外旅行時は、インスリン治療中であることを事前に航空会社へ知らせる必要がある。
- d. 長時間の飛行機利用によって、肺塞栓症を起こす旅行者血栓症、いわゆるエコノミークラス症候群に注意する。
- e. 海外旅行時の時差や食事時間のずれがあるため、事前に旅行計画を立てておく。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 51】 開かれた質問で、間違っているものを2つ選べ。

- a. 糖尿病と診断されて、ご家族の方はどう思われていますか？
- b. なぜ糖尿病になったと思いますか？
- c. 糖尿病と診断を受けてショックでしたか？
- d. 退院してからどんな点が一番難しいと思いますか？
- e. 「友達や職場の方に私は糖尿病です」と話せますか？

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 52】 糖尿病患者の療養生活への意欲を高めるために効果的でないものを2つ選べ。

- a. ストレスを軽減するリラックス法を指導する。
- b. 実行可能な目標を患者と一緒に考える。
- c. 検査データが悪くても努力していることを評価する。
- d. 意欲が出てくるまで介入しない。
- e. 完璧をめざし、常に問題を指摘しながら指導する。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 53】重症合併症（透析、失明など）をきたした患者の援助について、間違っているものはどれか。

1. ショック期：患者が現状や事実をどのように認識しているかを明らかにする。
2. 悲嘆期：感情が表現できる場を提供する。
3. 悲嘆期から解消期：患者が変化しようとする言動を発見する
4. 解消期：利用できる社会資源を与える
5. 患者の話をつただ聞くだけでなく、批判や忠告をすることで変化を促進させる事ができる。

【問題 54】糖尿病教育の意義について、間違っているものはどれですか？

1. 教育の対象は、患者個人に限定される。
2. 症状がなくても治療を継続することの重要性を理解できる。
3. 効果的な自己管理の方法を身につけることができる。
4. 糖尿病を理解することで無用な恐怖や不安を軽減することができる。
5. 教育入院による食事や運動の実施が、生活習慣の見直しにつながる。

【問題 55】行動変化を促進するための援助法で、間違っているのはどれですか？

1. 前熟考期：感情や考えを聞く。患者会への参加
2. 熟考期：行動変化による利益と障害をあきらかにする。
3. 準備期：具体的な行動目標の設定。教育コースの開始
4. 行動期：より高度な知識と技術の提供。行動療法の強化
5. 維持期：治療が負担になっていないか話し合う。

【問題 56】調理実習の目標と評価について、間違っているものを選び。

- a. 健常者同様の生活を営むのに必要な栄養素をとれるよう食品を組み合わせる。
- b. 患者の理解度に合わせて、摂取した食品の記録法を指導する。少なくとも連続3日分の記録が必要である。
- c. 食品の目安量は時間とともに誤差が生じるのでときどき実際に計量する。一方、調味料は全体的に誤差があっても少ないので目分量でよい。
- d. 患者がどのような環境にいて、どのような食生活を望んでいるのかを十分に理解しサポートする。
- e. どの患者に対しても理想的なマニュアル献立を提示し、その調理法を理解し、実行できる様指導する。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 57】糖尿病患者教育について、正しいものを選び。

- a. 集団指導では、プライバシーの確保に努め、患者同士の意見交換や話し合いの機会を控えるようにする。
- b. 個別指導では、患者だけでなく家族の参加により、具体的な生活調整につなげることができる。
- c. 継続的な教育では、患者の問題点を見出して、改善しなければならないことを強調する。
- d. 糖尿病教室では、参加者の関心が向けられる内容、テーマを検討する。
- e. グループ討論中に患者が疑問や不安を抱かないよう医療スタッフが積極的に介入する。

1) a, c 2) b, d 3) c, e 4) a, b 5) d, e

【問題 58】糖尿病療養指導士の意義と役割について、間違っているものはどれか。

1. 患者のよきパートナーとして、患者の立場に立ち、患者に寄り添い支援する。
2. 全国の療養指導士の研修や、情報交換、職種間の連携強化を実現することが CDE ネットワークのコンセプトである。
3. 医師の指示する治療方針を正しく適切に患者に伝え、患者が自己管理できるよう援助する。
4. 療養指導には患者と医療側の信頼関係が基本となる。
5. 食事療法の知識を身につけているので、栄養士以外の職種にあるものも、摂取カロリーの設定や献立作成の指導を行ってよい。

【問題 59】糖尿病の疫学について、間違っているものを1つ選び。

1. 2012 年、厚生労働省によると、糖尿病が強く疑われる人は約 950 万人、糖尿病の可能性のある人は約 1100 万人と推測された。
2. 糖尿病腎症からの新規透析導入患者は、年間 16000 人を超えている。
3. 糖尿病性網膜症による失明は、年間 10000 人を超えている。
4. 高齢糖尿病患者の認知症リスクは、アルツハイマー型および脳血管性認知症ともに、非糖尿病患者の 2~4 倍である。
5. 糖尿病患者の虚血性心疾患の発生頻度は、非糖尿病患者の 3 倍以上である。

【問題 60】 日本糖尿病協会について、間違っているものを1つ選べ。

1. 糖尿病の正しい知識の普及啓発、療養支援、調査研究、国際交流活動を行う公益法人である。
2. 毎年 11 月 14 日を「世界糖尿病デー」と定め、全世界が糖尿病の予防と克服に向けて、ブルーサークルをシンボルマークとしキャンペーンを行っている。
3. 正しい知識の普及啓発として、月間ライフ「さかえ」や CDE 向け雑誌「DM Ensemble」の発刊、療養指導学術集会の開催を行っている。
4. 療養支援として、自己管理ノート、糖尿病連携手帳などを製作、配布している。
5. 会員数は、約 10 万 5000 人で、友の会を開設するには、会員数の 15 人以上が必要である。